

细腻なんて言わせない!!

255



「こんな時代ですからね、皆さん大いにストレスが溜まっているんですよ。ここでのんびりして発散してもらえれば私もうれしいんです」と、続ける志賀さん

皆さんに感動を与えたいの

「花が好きで始めたんです」と言う

志賀 ゆう子さん

■癒やしの空間「チャトールコテージ」オーナー
■いわき市平中神谷字北出口一

電話／〇二四六一三四一七七九八

社会環境の変化か、あるいは特異な事件や事故の頻発などが影響しているためか、「癒やしの空間」を求める人が引きも切らない状況が続いている。

「ここを利用される皆さんは、溜（た）まっていた胸の内のわだかまりなどを捨て払い、心の底からゆったりされているようです。笑顔で帰る皆さんたちを見ると、私もとてもうれしくなるんです」

こぼれる笑顔で屈託なく続けるのは、自宅敷地内の庭園をサクラ、モミジの木々、バラ、チューリップなどざっと千種もの花木で飾り、レトロ調の店内で洋風料理や本場の紅茶を提供している、志賀ゆう子さん（五八）。

生け花の師匠をしていた母親の影響を受け、また、「娘の結婚の折は、庭の花々で自作のブーケを作ったんです」というほど、花が好きだった志賀さんは、二十年前ほど前から、庭一面に数々の木や花を植えて育ててきた。

いつしかこの「ゆう子ガーデン」が広まり、四季折々、訪れる市民が増えてきた。そんな折、友人の間から「軽い食事

「実は血液はO型だったの」



花木の数は千本以上 「癒やし」を提供中

でも提供してくれたら…」といった声が出てきたことから、ルーム建設のため、夫の忠重さん（六四）らの手を借り、庭の東側に建っていた物置を大改造。「建物室内の面積は九坪（約三十平方メートル）。壁は昔のような土壁で固め、さらに、ドイツの枕木、古材などを使ってフロー。室内には温もりある薪（まき）ストーブも配置しました。大震災の時も、壊れませんでした」

飲食メニューも豊富に

こうして「チャトーコテージ」は誕生し、今年で十余年になる。渡英した際、「気に入った女性の名前を店名とし、一日一組、四〜八人まで」と、限定でスタートした。空間は、口コミで広がり、市内外から女性グループによる予約が相次ぐ。一人二



千五百円のメニューもバラエティー。チキンや生ハムのサラダ、ドリア類、ケーキなどにアッサム、ダージリンの紅茶、そして中国茶を含め、平均でも九種類がテーブルに乗る。ところが、大震災と原発事故の折は一家で避難を余儀なくされ、店は休業。「あの時は、私たちも千葉の親類の元へ全員で避難しました。ちよくちよくは帰ってきていましたが、やっと帰ったのは、その年の八月。店は九月からポチポチ開けましたが、利用者のほとんどは相双地区からの避難者の人たち。今も大熊地区などの人たちが訪れ旧交を温めてお

り、故郷での話に花を咲かせています。この店が役に立ててうれいのですよ」

避難者、あるいは地震や大津波で家を失った被災者の中には、過度のストレスで滅入ってしまう人も少なくない。志賀さん自身も、つらい話に同情し、体調を崩してしまったこともあったという。

同店のメインの一つ、庭園関連ではNHKのコンテストにも出場し、評判を集めたが、志賀さんは、「今の社会ですか？ 原発問題を含め、日本はこれからどうなるんでしょうね。世の中、殺伐とすぎですよ」と、現況を憂いながらも、「私は、これからも訪れる皆さんの心のリラックに役に立ちたいですね。少しでも感動を与えられれば、自分の心も温かくなりまし」と言って胸を張った。

プロフィール しが・ゆうこ

1956年10月17日生まれ。茨城県高萩出身。「花が好き」で、たびたび「本場」、イギリスへも。また、フラワーアレンジも実施。「盛りのころはただ今と、訪れる常連も」。クリスマスなどの時期は、室内を関連のそれらで飾りつけし、利用者を喜ばせる。休日は、万本桜運動等を進めている忠重さんの手伝い。得意な料理は、「和食も、なべ物も」。O型

■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

新春茶の湯道具展

～茶盃、水指、香合、茶入、軸、その他300余点展示～

■会期/平成27年1月5日(月)～12日(月)
午前10時～午後6時(最終日は午後5時閉場)

新春福袋

個数は限定数で、消費税込み

お稽古用	逸品作
3,000円(30個)	100,000円(2個)
5,000円(20個)	500,000円(1個)
10,000円(10個)	1,000,000円(1個)
50,000円(3個)	平成27年記念福袋 270,000円(1個)



吉羽与兵衛
梅瓶地紋撫餅釜(勲雲斎書付)

新春お茶席

- ◆お菓子 はなびら餅
- ◆お茶 京都柳桜園 富嶽

粗品進呈

- (先着50名様)
- ◆来場のお客様に
- ◆しんげつ干支紅白まんじゅう
(1月5日(月)～8日(木)の4日間のみ)

民芸 仙臺筆筒フェア

絢爛たる伝統美の結晶

■会期/平成27年1月15日(木)～26日(月)
午前10時～午後6時(最終日は午後5時閉場)

ふき漆塗り/木地呂塗り/朱漆塗り

- 長筆筒
- 衣装筆筒
- 車筆筒
- からくり筆筒
- 階段筆筒 他

古筆筒の修理・再生承ります

北上90
W90×D46×H90



北上100 4/2
W100×D46×H90



有限会社 小野美術

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F

☎0246-35-0383

HP: <http://onobjutsu.jp> e-mail: info@onobjutsu.jp